



Discover

大分三愛メディカルセンター 消化器病・内視鏡センター 医療連携機関向け広報誌

2021.7 vol.03

大分三愛メディカルセンターでは、5月上旬より新型コロナウイルス陽性患者の受け入れ体制を拡大し、いわゆる「コロナ第4波」への対策を余儀なくされました。それに伴い、通常の患者さまを受け入れる体制に制限が発生し、地域の先生方にもご迷惑をおかけしました。6月末現在、先生方のご支援もあり、大分県内では感染状況は下火となっております。

これを機に、病院としても7月より、徐々に通常の診療体制に戻しております。これまで同様、先生方との密な連携を図っていければと考えております。

今回の内容は、食道静脈瘤に対しての内視鏡治療についてです。今後多くの症例をご紹介して参りますので、ご高覧いただければ幸いです。

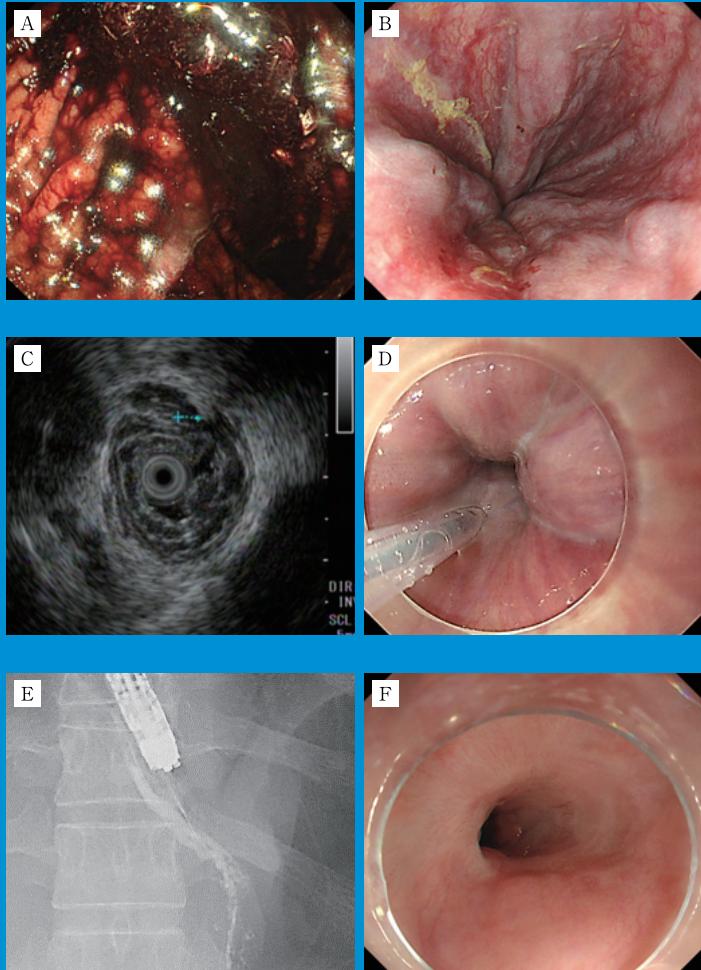
大分三愛メディカルセンター/消化器病・内視鏡センター長 錦織 英史

Discover

Case.3

食道静脈瘤に対する 内視鏡的静脈瘤硬化療法(EIS:EO法)

(EIS:Endoscopic Injection Sclerotherapy)



A 緊急内視鏡時の胃内血液貯留

B 治療前の食道下部内視鏡画像

C EUS(miniature probe)による静脈瘤治療前評価

D EIS(穿刺・注入)中の内視鏡画像

E EIS(穿刺・注入)中の透視画像

F 治療後の食道下部内視鏡画像

[40歳代・女性]

アルコール性肝硬変で他院にて治療歴があった。飲酒を継続していたところ、新鮮血を吐血したとして救急要請し、救急外来に搬送となつた。緊急上部消化管内視鏡検査を行い、食道静脈瘤および胃内の血液貯留を認めるも出血源が同定できず、SB-tubeを留置しつつ輸血により急場を凌いだ。落ち着いた後に待機的に内視鏡精査を行い、発達した食道静脈瘤を確認し、EUSでは壁在傍食道静脈(Peri-v)の発達と、食道壁を貫通する血管(PV)を認めた。再出血リスクが高いと考え、内視鏡的静脈瘤硬化療法を計画した。透視下に硬化剤(5%EOI; EO with iopamidol)を静脈瘤内に注入し、噴門静脈叢および供血路(左胃静脈)まで注入が確認できた。週1回の治療を2回行い、問題なく退院した。治療後、外来での内視鏡フォローアップでは静脈瘤の完全消失が確認できた。患者様はその後、再出血なく経過できた。

[適応/出血リスクのある食道静脈瘤]

- ・出血後の症例
- ・出血リスクの高い症例(red color sign、F2以上の太さ)
- ・進行した肝不全・腎不全ではない
- ・肝臓癌のコントロールが可能な症例
- ・EUSで壁在傍食道静脈(Peri-v)が発達している

今回の機器



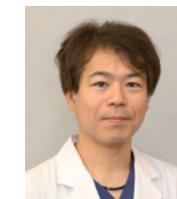
[主な使用デバイス]
・内視鏡(GIF-H290T:Olympus®)
・穿刺針(バリクサー25G:TOP®)



消化器内科医師のご紹介

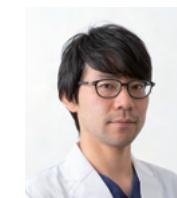
当院は指導施設および関連施設に認定されています。

指導施設認定:日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本脾臓学会
関連施設認定:日本消化器病学会



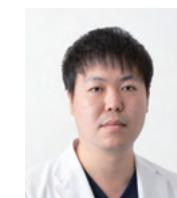
消化器病
内視鏡センター長
錦織 英史
大分大学卒(2004年)
【専門分野】
消化器内科(内視鏡)
胆嚢内科

【認定資格】
日本消化器内視鏡学会
専門医・指導医・九州支部評議員
日本脾臓学会 認定指導医
日本胆道学会認定指導医
日本消化器病学会 専門医
日本内科学会 認定内科医
日本医師会 認定産業医
大分大学医学部臨床准教授



消化器内科部長
佐上 亮太
防衛医科大学卒(2010年)

【認定資格】
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医



消化器内科医師
佐藤 孝生
大分大学卒(2012年)
【専門分野】
消化器内科

【認定資格】
日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医

ご紹介連絡先

大分三愛メディカルセンター

地域連携センター TEL.097-542-7404

Tel.870-1151
大分市大字市1213番地
TEL.097-541-1311
www.san-ai-group.org

